

新産住拓株式会社

所在地：熊本市南区近見 8 丁目9-85 創業：1964年
資本金：1億7,600万円 従業員数：154人 事業概要：建設業

従業員の教育支援・多様な働き方をサポート【くまもとSDGsアワード2023大賞受賞】
・人財育成・働き続けられる環境整備に力を入れている

取組み前の課題

- 1. 県内定着
- 2. 人材育成
- 3. 生産性向上
- 4. 働きやすい職場環境
- 5. その他

【背景】

住まいづくりを通して、三方（売り手・買い手・社会）にとって良い活動を追求する中で、林産地連携の木の住まいを作ること、輸送にかかるコストやCO2を削減し、地域の雇用を生み出し、炭素を閉じ込めることもできる。その結果、山を守り、人の健康を守り、熊本の美しい街並みを再生することにも繋がると考え事業を行ってきた。また、1995年の阪神淡路大震災以降、耐震構造の基準を一から見直し、命を守る住まいづくりにもこだわってきた。時代の流れと共に、三方にプラスして作り手や未来も含めた五方にとって、より良い影響を与えられる活動を日々模索し、行動し続けている。

【課題】

社会課題である地方創生・森林保全・温暖化対策・国産材活用・ジェンダーギャップの解決をしたく、取組みを行っている。

取組み後の成果（効果）

【働き方改革】

▶女性の産休育休取得100%、復帰率100%。（直近4事業年度育休取得対象者11名）
▶前事業年度の男性社員育児休業取得率は50%。特別有給取得率は100%だが、今後は当たり前前に1ヶ月以上育児休業を取得できる体制づくりを行っていく。

※「KUMAMOTOよかボスAWARDS2020」を受賞

※「熊本県男女共同参画推進事業者」として表彰

【従業員の心身の健康促進】

▶健康を意識した社食や飲料を常備。アウトソーシングによる福利厚生サービスも導入。健康経営優良法人も取得。

【ダイバーシティ促進】

▶女性比率44%。全部門で男女が活躍。現在は女性管理職の育成にさらに注力。

※上記の取組みによりくまもとSDGsアワード2023大賞を受賞

取組み内容・事業・導入したこと

※SDGs推進の取組のうち、人材に係る取組のみ抜粋

【働き方改革】

- ▶女性社員の産休育休取得推進
- ▶男性社員の育児休業取得推進
- ▶産休育休取得者の復帰後のサポート
 - ・子が12歳になるまでの短時間勤務
 - ・社内託児制度の整備
 - ・在宅ワークの推進など1人1人のニーズに合わせた多様な勤務体系を実現。

【従業員の心身の健康促進】

- ▶健康を意識した社食や飲料を常備。アウトソーシングによる福利厚生サービスも導入。

【ダイバーシティ促進】

- ▶多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供。